

大麻・けしの見分け方



厚生労働省

大麻（アサ）は、その茎から丈夫な繊維がとれるので、昔から繊維をとる植物として栽培・利用されてきました。しかし、大麻（アサ）とは、大麻取締法という大麻草「カンナビス・サティバ・エル」のことであり、現在、日本では一般の栽培や所持等は法律で禁止されています。

大麻（アサ）の見分け方

- 1 アサは、成長が早く、大きいものは草丈が3 mにもなりますが、種子をつけた後は枯れてしまいます。
- 2 良く成長した茎は太く真直ぐに立ち、浅い縦すじが通っています。
- 3 葉は、細長い柄の先に、3～9枚（奇数）の小葉が集まって手のひらのような形になっています。葉全体の大きさは10～20cmくらいです。
- 4 雄花と雌花が別々の株につき、花は夏に咲きます。雌株は、葉のつけ根に穂状の雌花を多数つけます。雌花を摘むと、樹液でねばねばします。
- 5 「麻」と名のつく植物は、大麻以外にも亜麻（リネン）、苧麻（ラミー）、黄麻（ジュート）など多数あります。このうち、大麻と間違われやすい植物として、葉の形が似ている洋麻（ケナフ）がありますが、ケナフの葉は基部まで深く切れ込んでおらず、オクラやトロロアオイのような黄色又は薄い黄色の大きな美しい花を咲かせます。